

29. 骨関節結核の手術成績

相沢八郎, 野中陽二 (国立千葉病院外科)

19例の骨関節結核に就き、積極的な化学療法下に主として非定型的骨関節切除術を施行し良好な結果を得た。特に術式に関しガーゼタンポン充填は治癒期間が長期に亘る事を認め、原則として一次縫合し細小ゴム管本を挿入して術後沈滲及び抗生物質注入を行い局所の抗生物質濃度を高濃度に維持し併せて局所の減圧を図る方法を採用し良好な結果を得ている。

更にレ線直接拡大撮影法を行い術後骨梁を追求する事に依つて小範囲の病巣搔爬のみで残余の小病巣は治癒し得る事を確認した。即ち脊椎カリウス剖検標本につき、拡大レ線像と組織像との関係を検討しそれがほぼ一致することよりレ線直接拡大撮影法に依る骨梁の追求が可能なることを知り、それを臨牀的に応用したもので本撮影法に依り従来より容易に診断を下し得且つ手術量決定、術後経過観察に極めて優秀なることを論じた。

30. 健康長壽者の生態

橋本鍾爾, 橋本孝平 (安房東条病院)

長寿に関しては本邦に於いても諸学者により多数の業績が発表されている。

然し長寿のみでは一利一害あつて真の理想は健康長寿にあると云うことは云うまでもない。

昭和29年9月私の開業地鴨川町地区で保健所医師会協力の下で地区長寿者コンクールが行われた。

此の際同地区住民約5万内75才以上の長寿者1164名(男425, 女737)その内466名の出席を得たので私は其の内の健康と認めた者51名(25男, 女26)に就いて血圧関係及び其の他の諸検査を行い、同時に心臓Xの線写真を取った他に53名(男28, 女25)の健康長寿者を選出し心臓写真は取らないが同様の検査を行つた。

之れ等合計104名の長寿者は私の年来の知人である。

兎に角一小研究に過ぎないが、今後の長寿者研究の一助ともなれば幸と思ひ、茲に健康長寿者生態の第1報として報告する。

〔質問〕 福田 篤 郎

最低血圧はSwan何点でお測りになりましたか。血圧比はこの点のとり方で違いますので

〔答〕 橋本 鍾 爾
最低血圧は第5点を取つている。

〔質問〕 柳沢利喜雄 (公衆衛生)
最長寿者の嗜好品、ことに酒と甘味に対する関係を御知らせ下さい。私が群馬県下で調査しますと、酒と長寿とは関係なく、長寿者は比較的甘味を好む者に多くなりました。

〔答〕 橋本 鍾 爾
嗜好品については時間がなく話せなかつた酒に付いては今の所特別の関係なく気持が好い程度に呑んで構はない。

31. 耳下腺腫瘍

北村武, 石浦純一, 勝田三郎 (耳鼻咽喉科)
大塚武啓, 布施良三

昭和28, 29年の両年に18例の耳下腺腫瘍を経験した。このうち13例について、顔面神経を保存して腫瘍の全摘を試みた。この術式は顔面神経主幹を発見し、これを腺内に追求し、腺と腫瘍を一塊として摘出するものである。但し、腺の全摘を試みたものは4例、亜全摘が9例である。この成績から耳下腺腫瘍も出来るだけ早く摘出することが、顔面の変形を少くし、顔面神経の麻痺を防ぐ最良の方法であると結論した。

32. 癌のポーラログラフ的研究 (第3報)

蓮見 喜 一 郎 (蓮見研究所)
大曾 根 俊 士 (珠光会病院)

我々は、昭和27年5月より、29年11月迄の約2年半に、3747例のポーラログラフ法(アルカリ変性第1法)による血清蛋白波測定を行い、これと臨牀症状との関係を観察した。血清ポーラロ値・日立蛋白計による血清総蛋白量・チゼリウス電気泳動分析法による血清蛋白屑測定を同時に行つた580例に就いてみると、一般に三者の数値の相関は必ずしも高くなかつたが、重症例では、ポーラロ値の低下、総蛋白量の減少、A/G比の低下が多数にみられた。

33. TPTによる組織脱水素酵素の観察

御園生雄三, 戸沢澄 (産婦人科)

コハク酸脱水素酵素は生活細胞の呼吸過程に重要な意義をもつ。吾々はさきにTPTによる子宮癌の診断につき報告したが、さらにその還元呈色性により組織のコハク酸脱水素酵素の測定を試みた。被験